

第4学年3組 外国語活動指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材 「What do you want? ～ほしいものは何かな?～」

2 学習の構想

【このような子どもだから】

本学級の子どもは、第3学年の外国語活動で、“What do you want?”や“～,please.”の表現を使って友達やALTに欲しいものを尋ねたり、“I want ～.”の表現を使って自分が欲しい色や形のカードを答えたりする活動をしてきた。また、第4学年の1学期には、題材“I like Mondays.”で、友達や教師に自分の好きな曜日を伝えたり、1週間の予定を尋ね合ったりする活動をしてきた。

外国語活動に関するアンケートの結果を見ると「外国語活動が好き」と思っている子どもは全体の7割を超えている。しかし、英語を使って友達とコミュニケーションを図ることに苦手意識をもっている子どもは全体の55%であった。また、キャリア教育に関するアンケート（評定尺度法4点）の結果を見ると、肯定的な反応を返しながら最後まで話を聞こうとする子どもは、3.48Pであった。一方で、聞く人が分かりやすいように自分の考えや気持ちを伝えようとしている子どもは、3.10Pであった。

これらのことから、外国語活動への好意的な感情はあるが、英語を使って自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝えたり、自信をもって伝えたりすることに課題が見られる。

【このような内容を】

本題材は、小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編に示された内容のうち、外国語活動「イ 話すこと [やりとり]

(ウ) 自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動」を中核に据えて設定したものである。

具体的には、教師やALT、グループやペアの友達のサポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりすることである。ここでは、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現や野菜や果物などの語句に慣れ親しみ、その英語を使ってオリジナルメニューを作ったり、紹介したりすることをねらいとする。

このことは、高学年の外国語科で簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりする意欲や態度を育成する上で大変意義深い。

【このような指導で】

本題材の指導にあたっては、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現や野菜や果物などの語句に慣れ親しみ、その英語を使ってオリジナルメニューを作ったり、紹介したりすることができるようにする。

そのために、本時の指導にあたっては、まず、「つかむ・見通す」段階では、本時のめあてをつかむことができるように、前時までの活動を振り返る活動を設定する。

次に、「つくる」段階では、慣れ親しんだ英語の言い方を確認することができるように、チャンツなどをする活動を設定する。

そして、「深める」段階では、慣れ親しんだ英語を使ってオリジナルピザを作ることができるように、店員役と客役に分かれて欲しい食材を尋ねたり要求したりする活動を設定する。

最後に、「振り返る」段階では、次時の活動への意欲を高めることができるように、できるようになったことなどを振り返りカードに書く活動を設定する。

【このような視点を意識して】

◎コミュニケーションを図る力 < A 人間関係形成・社会形成能力 >

◎自分を前向きにとらえる力 < B 自己理解・自己管理能力 >

◎見通しをもち、自分の考えをつくる力 < C 課題対応能力 >

◎学ぶこと・働くことの意義や自分の役割を理解する力 < D キャリアプランニング能力 >

【このような子どもに】

< 題材の目標 >

知識及び技能	食材の言い方や欲しいものを尋ねたり、要求したりする表現に慣れ親しむ。
思考力、判断力、表現力等	欲しい食材などを尋ねたり、答えたりするとともに、考えたメニューを紹介し合うことができる。
学びに向かう力、人間性等	相手に配慮しながら、オリジナルメニューを紹介しようとする。

3 題材計画（全5時間）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次	時	学習活動	指導上の留意点（○）、評価規準と方法（◇）	視点
一	1	英語での野菜や果物の言い方に慣れ親しむ。	○ 英語での野菜や果物の言い方に慣れ親しむことができるように、デジタル教材や児童用テキストを活用し、英語の言い方を知っている食材を発表したり、ALTの発音を聞いたりする活動を設定する。 ◇ ALTの発音を聞いて、野菜や果物の言い方に慣れ親しんでいる。【知識・技能】《観察・振り返りカード》	A
二	2	欲しい果物を友達に尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。	○ 前時に学習した果物の英語を使い、ペアでオリジナルフルーツパフェを作ることができるように、学級担任とALTが店員役と客役に分かれてデモンストレーションを行う。 ◇ オリジナルフルーツパフェに必要な果物を尋ねたり、要求したりする表現に慣れ親しんでいる。【知識・技能】《観察・振り返りカード》	A
	3	オリジナルフルーツパフェについて紹介したり、友達とやり取りをして欲しいパフェを伝えたりする。	○ 欲しい食材を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができるように、聞くことを中心にした活動から話すことを中心にした活動へと段階的に設定する。 ◇ オリジナルフルーツパフェを作るために欲しい食材を尋ねたり、答えたりしている。【思考・判断・表現】《観察・振り返りカード》	A・C
	4 （本時）	店員役と客役に分かれてやり取りをし、食材を集めてオリジナルピザを作る。	○ 慣れ親しんだ英語を使ってオリジナルピザを作ることができるように、店員役と客役に分かれて欲しい食材を尋ねたり答えたりする活動を設定する。 ◇ オリジナルピザを作るために欲しい食材を尋ねたり、答えたりしている。【思考・判断・表現】《観察・振り返りカード》	A・B
三	5	前時に作成したオリジナルピザをクラス全体で紹介する。	○ 自分のよさや成長したところ、外国語を学ぶよさを実感することができるように、前時に作ったオリジナルピザを紹介する活動を設定したり、子どものよい姿を具体的に取り上げて称賛、価値付けをしたりする場を設定する。 ◇ オリジナルピザのメニューを学習した表現を使って紹介しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】《観察》 ◇ 自分のよさや成長したところ、外国語を学ぶよさを実感している。【主体的に学習に取り組む態度】《観察・振り返りカード》	B・D

4 本時 令和3年11月18日（木） 13:40～14:25 於：4年3組教室

（1）主眼

店員役と客役に分かれて食材を集めるやり取りをし、オリジナルピザを作る活動を通して、“What do you want?” “I want ～.”などの表現や野菜などの語句を用いて、欲しい食材を尋ねたり答えたりすることができるようにする。

（2）本時で意識するキャリア教育の視点

意識する視点	意識する視点の具体
A 人間関係形成・社会形成能力	○ 友達と気持ちのよいやり取りをするためのポイント（はっきりとした声で、笑顔で、相手の表情を見て）を意識して、やり取りすることができる。
B 自己理解・自己管理能力	○ できるようになったことや頑張ったことなど、自分のよさや成長したところを振り返ることができる。

（3）準備

果物・野菜（食材）カード（児童用・板書用）、オリジナルピザの台紙（児童用・板書用）、振り返りカード

(4) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点 (○) と評価規準 (◇) 意識するキャリア教育の視点(◀▶)と手だて(◎)
つ か む ・ 見 通 す	<p>1 外国語活動の雰囲気づくりをする。 (1) H R T、A L Tとあいさつをする。 (2) “♪Hello song”を歌う。</p> <p>2 前時の活動を振り返り、本時の活動のめあてをつかむ。 (1) 前時の活動を振り返る。 (2) 本時の活動のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 外国語活動のよい雰囲気をつくることができるように、笑顔であいさつをしたり、歌を歌ったりするなどの活動を設定する。</p> <p>○ 前時までの英語表現や語句の言い方を想起することができるように、“What do you want?” “I want ~.” “How many?” 等を記したカードを提示しておく。</p> <p>○ 本時の活動のめあてをつかむことができるように、本時の活動の流れを小さい黒板に書いて提示しておく。</p>
<p>【めあて】 店員と客に分かれてやり取りをし、自分だけのオリジナルピザを作ろう。</p>		
つ く る	<p>3 慣れ親しんだ英語を聞いたり、言ったりする。 (1) “♪What do you want? ♪”のチャンツをする。</p> <p>(2) 教科書 P 29 【Let's Listen2】をする。</p>	<p>○ 慣れ親しんだ英語表現を進んで聞いたり、言ったりすることができるように、以下の手順でチャンツをする。</p> <p>① みんなで一緒にチャンツをする。 ② パートに分かれてチャンツをする。 ・ H R Tが質問するパート ・ 子どもが答えるパート ③ ②の逆バージョンでチャンツをする。</p> <p>○ 慣れ親しんだ英語表現を聞いて内容を推測したり、言い方を確認したりすることができるように、A L Tの音声を聞き、イラストと文字を線で結ぶ活動や野菜の言い方 (tomatoes, cabbages, corn, mushrooms, onions, green peppers, cucumbers, carrots, potatoes) を確認する活動を設定する。</p>

深
め
る

4 慣れ親しんだ英語を使って、オリジナルピザを作る。

(1) 自分の作りたいオリジナルピザを考える。

(2) HRT、ALTのデモンストレーションを見る。

≪

(3) やり取りをして自分だけのオリジナルピザを作る。

○ 活動の見通しと目指すゴール像をイメージすることができるように、オリジナルピザを作るデモンストレーションを行う。
(学習活動4(3)「やり取りをしてオリジナルピザを作る」活動につながるように、「はっきりとした声で」「笑顔で」「相手の表情を見て」の3つのポイントを意識する。)

〈気持ちのよいやり取りのポイント〉

・はっきりとした声で ・笑顔で ・相手の表情を見て



What do you want?

I want green peppers.



O.K. How many green peppers?

Three, please.



O.K. Here you are.

Thank you.



You're welcome.

◎ 店員と客に分かれて気持ちのよいやり取りをしながら、オリジナルピザを作ることができるように、気持ちのよいやり取りの3つのポイントを意識して伝え合うよう助言する。

＜A 人間関係形成・

社会形成能力＞

◇ オリジナルピザを作るために欲しい食材を尋ねたり、答えたりしている。

【思考・判断・表現】《観察・発言》

振
り
返
る

5 本時の活動を振り返る。

(1) 振り返りを書く。

(2) 振り返りを発表する。

◎ 本時の活動を振り返ることができるように、子どもが㊦㊧㊨㊩㊪㊫の視点（振り返りの視点）から2つ選択し、振り返りカードに書く活動を設定する。

＜B 自己理解・自己管理能力＞

○ 次時の活動への意欲を高めたり、自分のよさや成長したところを見つけたりすることができるように、子どものよい姿を具体的に取り上げて称賛、価値付けする。